

# 損しない自動売買ソフトの選び方

自動売買を極めし後に待っているモノは・・・

著者 asajiro（蛸原和生）

## ◆著作権について

当レポートは、著作権法で保護されている著作物です。

このレポートの開封をもって下記の事項に同意したものとみなします。

当レポートの著作権は、著者である蠣原和生にあります。

書面による事前許可なく、当レポートの一部または全てを一般に公開すること、転売することを禁じます。また、当レポートをあらゆるデータ蓄積手段（印刷物、電子ファイル、ビデオ、DVD、及びその他電子メディアなど）によって複製、流用及び転載することを禁じます。

このレポートに書かれた情報は、作成時点での著者の見解等です。著者は、事前許可を得ずに誤りの訂正、情報の最新化、見解の変更等を行う権利を有します。

## ◆免責事項について

当レポートの作成には万全を期しておりますが、万一誤り、不正確な情報等がありまして  
も、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。

また当レポートは、閲覧者の利益を保証するものではありません。当レポートに沿って実  
行し、期待通りの効果を得ることが出来なかった場合、また実行するにあたり仮に損失が  
発生した場合でも一切の責任を負いません。

# 目次

## はじめに

## 第1章 ナンピン・マーチンゲールE A

- ナンピンは1個まで。
- マーチンゲールE Aは裁量技術が必要。

## 第2章 バックテスト

- バックテストは信じるな。
- バックテストは自分でやろう。

## 第3章 フォワードテスト

- フォワードテストを公開してないE Aは使うな。
- フォワードテストの判断方法
- フォワードテストの利用法

## 第4章 販売ページ

- 販売ページは読むだけ無駄。
- リアル運用している人を探せ。

## 最後に

# はじめに

こんにちは。asajiro です。このレポートは、

**「損しない自動売買ソフトの選び方」**を端的に述べたものです。

F X 初心者の方。

これから自動売買を始めようという方。

今まで何度も負け組 E A を購入してきた方。

こういった方々は必ず目を通して下さいね。

基本的な話が中心となりますので、

自動売買経験者の方や F X 中級者以上の方には必要ありません。

しかし、

**「これから自動売買を始めよう」**と思ってる方や

**「とりあえず始めてみたけど負けてばかり」**という方には、

とても役に立つレポートだと思いますよ。

あと、**E Aに関する漠然とした考え**をハッキリさせたい方にもオススメです。

今更人に聞くのは恥ずかしい。調べるのは面倒臭い・・・って方、結構いると思います  
(笑)。

是非、この「損しない自動売買ソフトの選び方」を熟読して、

いわゆる「詐欺商材」や「負け組E A」を掴まないようにして下さいね。

(注：E A = expert adviser の略。自動売買ソフトのことです。)

また「勝てるE A」というものも数は少ないですが、確かに存在します。

引き続きメルマガやブログの中で紹介して行きますので楽しみにして下さい。

まず、基本的な用語を念の為記載しておきます。

## ◎ E A（自動売買ソフト）の種類

トレードの種類：スキャルピング、デイトレード、スイングトレード

エントリー方法：逆張り、順張り

E Aのタイプ：単発、ナンピン、マーチンゲール、コツコツドカン、など

まあ、E Aのロジックを簡単に仕分けるとこんな感じになります。

本来E Aのロジックは複雑なのですが、この程度は理解しておいて下さい。

**スキャルピング・・・短期売買。1分足、5分足など。数分～数時間のトレード。**



**デイトレード**・・・中期売買。5分足、15分足、30分足など。数時間～数日のトレード。

**スイングトレード**・・・長期売買。30分足、60分足、4時間足など。数日～数週間のトレード。

**逆張り**・・・相場の反転時を狙ってエントリーする方法

**順張り**・・・相場にトレンドが出た時を狙ってエントリーする方法

**単発EA**・・・エントリーからエグジットまで独立して行うEA。基本的に追加のポジションは取らない。

**ナンピンEA**・・・狙った方向と逆行した場合に、追加でポジションを取るEA。

**マーチンゲールEA**・・・逆行した場合に「倍のLot」でポジションを取るEA。

**コツコツドカンEA**・・・リミットが狭く、ストップが極端に深いEA。

では、「損しない自動売買ソフトの選び方」第一章へ。

# 第1章 ナンピン・マーチンゲールEA

## ■ナンピンは何個まで？

まず、自動売買に限らず、FXに限らず、投資をする上で必ず知っておくべき手法が「ナンピン」です。所構わず出現しますので、何より先に理解しておいた方がいいです。相場が狙った方向と逆行した場合に、同 Lot で同じ方向のポジションを建てます。



イメージとしてはこんな感じ。

例えば、ドル円が 100 円の時に買いポジを建てたとしましょう。最初順調に伸びていましたが、途中から大幅下落……。買った時よりさらに逆行して 98 円にまで落ちてしまいました。この時点で 2 円（200pips）の負けですが、この 98 円の時に**同 Lot で同じ買いポジ**を建てます。このポジションが「ナンピン」ポジションです。

それから 99 円まで回復したとすると、100 円の買いポジは 100pips マイナス。98 円の買いポジは 100pips のプラスとなります。98 円の買いポジが無ければまだ 100pips のマイナスでしたが、ナンピンのポジを建てることで±ゼロとなります。

これがさらに 100 円まで回復したとすると、100 円のポジは±0 ですね。そして 98 円のポジは 200pips のプラスとなります。

このように、逆行した際に新しくポジションを建てることによって、最初に建てたポジションのリスクを半減させ、上手くすればプラスに持って行く手法を総じて「ナンピン」といいます。

裁量トレードでも自動売買でも、数多く取り入れられてる手法です。

このナンピンという手法自体は「善」でも「悪」でもありません。

使い方次第で、巨額の利益を得ることも出来ます。

問題は、自動売買にこの手法を取り入れる場合です。

まずは、この手法の欠点を見ていきましょう。

ナンピンの致命的な欠点。

それは、ナンピンを行った後、さらに相場が逆行した場合・・・

**さらに大きな含み損が持つことになります。**

上記の例でいうと、98 円でナンピンのポジを取った後に 96 円まで下落したとしましょう。

100 円のポジは 400pips のマイナス。98 円のポジは 200pips のマイナスを抱えることになるのです。

ポジションが2つの場合はまだいいのですが、4つも5つもナンピンポジを取るE Aの場合・・・恐ろしいことになるので注意が必要です。特にスキャル系E Aの場合、数 pips 幅でナンピンをしてしまうことがあります・・・非常に危険です。

ただし、先ほども申し上げましたが、ナンピン自体は悪の手法でもなんでもありません。

**好き嫌いがありますが、とても効果的な手法です。**

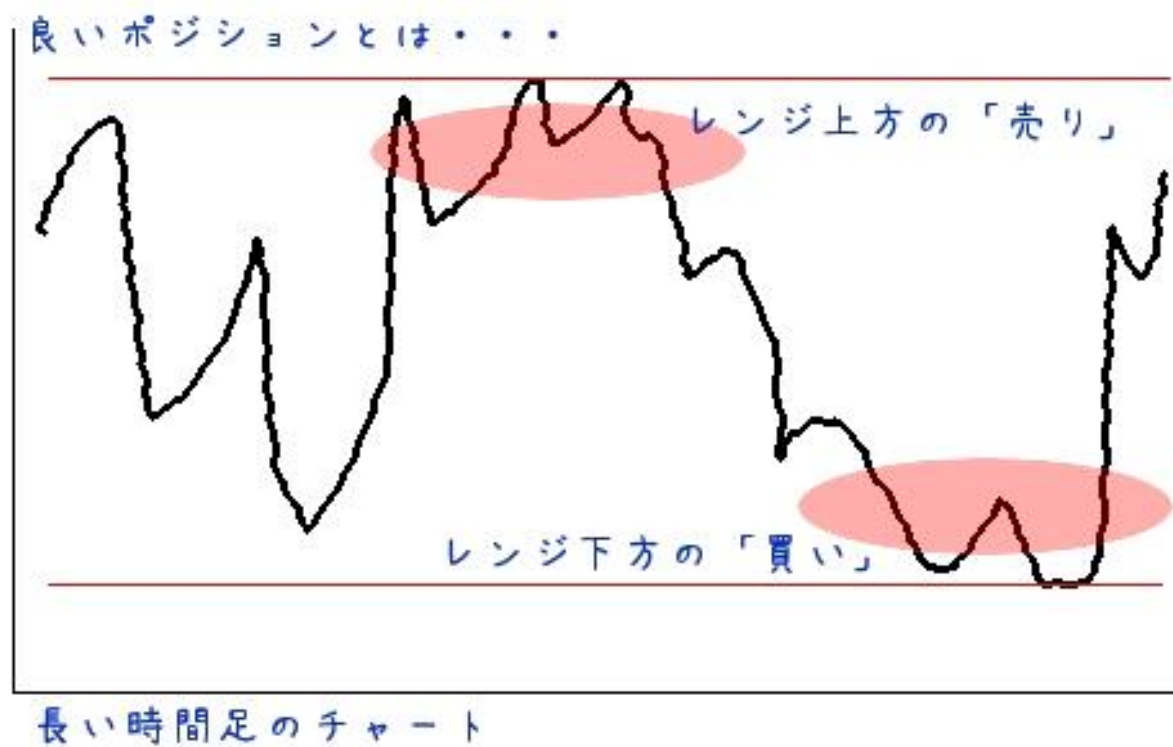
え、そうなの？

相場は一方向的に上がり続けることも、一方向的に下がり続けることもありません（リーマンショックやアベノミクス時などの特殊な場合は除く）。ある程度の幅の中を行ったり来たりしながらレンジを形成しています。

つまり建てたポジションの位置が良ければ、いずれ必ず戻って来るわけです。しかし、建てたポジションの位置が悪ければいつまで経っても戻ってきません。含み損を抱えたまま毎日ため息を吐くことになります。

ちなみに、

良いポジションとは、レンジ幅の半分より下の買いポジ。レンジ幅の半分より上の方の売りポジです。例えば、レンジ幅が 100～105 円だとします。100～101 円付近の買いポジや 104～105 円の売りポジなら、例え逆行しても戻ってくる可能性が高いと言えます。



※但し、レンジをブレイクしてしまうと、この限りではありません。レンジを超えて一方的なトレンドが発生した場合は、「レンジ上方の売り」も「レンジ下方の買い」も関係なくなります。

逆に・・・レンジ上方の買いポジ。レンジ下方の売りポジはたいへん危険です。何個もナンピンポジを建てた上に、何百 pips も逆行したまま戻って来ません。いずれ戻ってくるかもしれませんが、1 年後とか 5 年後とかね。その前に耐え切れなくなってしまうです。

というわけで、

裁量トレードであればこの辺を注意しながらナンピン玉を建てることは大いに効果的なのです。

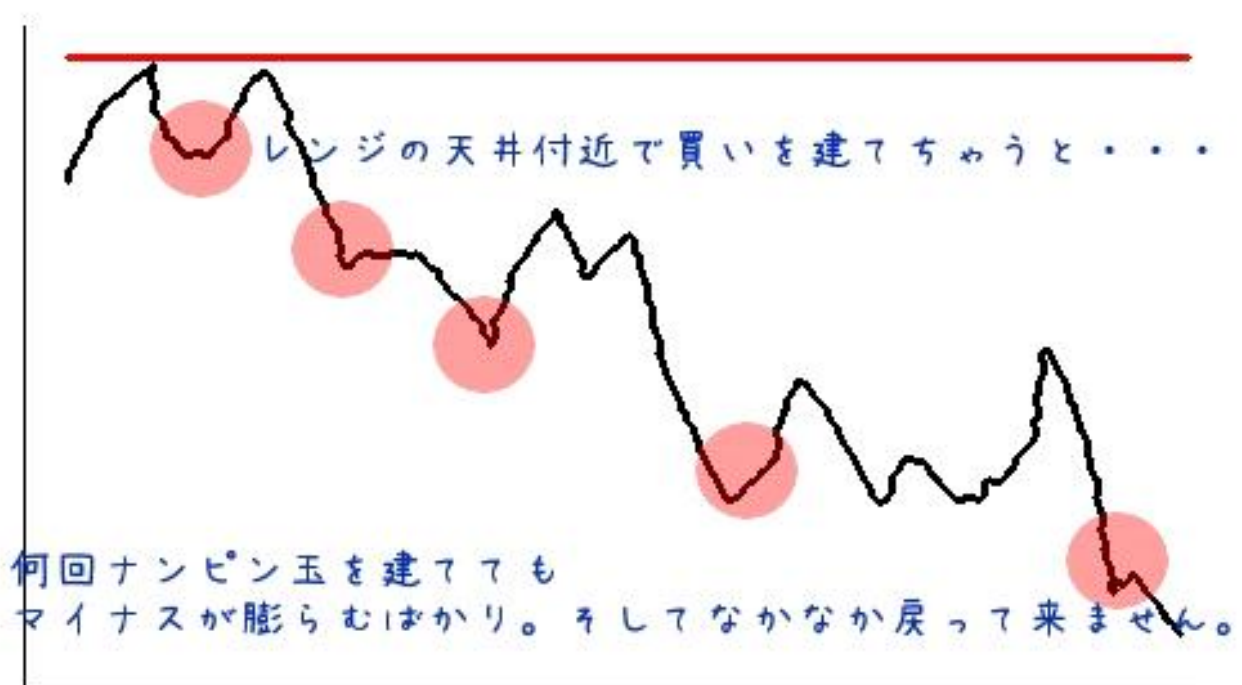
しかし自動売買だと・・・？

当然 E A はそんなレンジ幅を意識しているわけではありません。先ほど述べたように、レンジの底で売りポジを取ることだってあるし、レンジの天井で買いポジを取ることもあります。また、大きなトレンドが出ているのに逆行ポジを取ったり、大きなニュースや介入などの政府筋イベントにも無関係にポジションを取ってしまいます。

この後に逆行してしまうと超悲惨なことになります。

取ったナンピンポジは**全部マイナス浮遊霊**。

レンジの天井で買いポジ。逆行すると悲惨なことに。



ナンピンEAの全てを否定するわけではありませんが、そのほとんどが「利益を最大化」する為のものです。先ほど申し上げた通り、相場はある程度のレンジの中で行ったり来たりを繰り返してるので、ナンピンをすればするほど儲けも増えます。



しかし、戻ってくれば、の話です。

**「半年間大きなD Dが出なければいい！」**

というような製作者もいるようです。つまり、いずれは大きなドロダウンが出るだろうけど、そのXデーまでに出来るだけたくさん売ってしまえ！という考え方ですね。

このようなE Aが以前は大挙して販売されていました。恐ろしい限りです。

個人的に、「E Aのナンピンは1〜2個まで」だと思います。

それ以上のナンピンを行うE Aは初心者は絶対手を出してはいけません。

10個とかナンピンするE Aなど、もっての他です。

そして、**なにより運用者の技量が必要**です。

「今の状況ならロングだけ」「このナンピンポジは損切り」「今の相場はストップ」

これらの判断が出来ないうちに、

ナンピンE Aを扱うことはやめた方が賢明だと思いますよ。

## 【補足】ナンピンじゃないけど、大量にポジションを取るE A

よくある話ですが、某自動売買ソフトを扱ってるサイトの某ソフトを調べてみました。グラフを見ると右肩上がりの一直線。勝率は100%！1万ドルの口座があっという間に2万ドル越え（つまり200%増）ってE Aがありました。

こりゃすげえ！って思いながら「含み損ポジ」を見てみると・・・

**なんと47個！**

このE Aはストップが300pips超なので、仮にこのポジションが一斉にストップに刺さったら・・・

14000pips の負けになります。0.1Lot（一万通貨）なら 14000 ドルの負けです。今までの勝ちを全て吹っ飛ばした挙句、口座を破綻させかねない危険を孕んでいるのです。

ストップが深い E A は、なかなか負けず、見た目良い成績になることが多いです。が、一回の負けが致命傷になるリスクがあることを忘れないようにして下さいね。

## ■マーチンゲール E A は裁量技術が必要。

マーチンゲール E A の基本は、ナンピン E A と同じです。違うのは、追加でナンピンポジションを取る時に「倍の Lot 数」（あるいは数倍）で建てるという点です。

例えば、ドル円が 100 円の時に「0.1Lot」で買いポジションを建てたのですが、逆行して 98 円になったため「0.2Lot」で買いポジションを建てました。さらに逆行して 96 円になった為「0.4Lot」でポジションを・・・と延々と繰り返して行くのがマーチンゲール E A の特色です。

例では分かりやすく、100 円・・・98 円・・・96 円・・・としましたが、実際は、100.00 円・・・99.80 円・・・99.60 円・・・という細かい幅でナンピンする場合もあります。

マーチンゲール E A は、ナンピンよりも破壊力抜群。上の例で言うと、96 円まで下落した相場が 98 円まで回復したとしましょう。

すると・・・

100 円 0.1Lot のポジは 200 ドル（200pips）のマイナス。

98 円 0.2Lot のポジは  $\pm 0$ 。

96 円 0.4Lot のポジは 800 ドル（200pips）のプラス。

・・・となります。

**pips 数はプラマイゼロなのに、合計 600 ドルのプラス。**

ナンピンならここで  $\pm 0$  ですが、マーチン E A だと大幅プラスとなります。

もちろん、さらに逆行した場合の悲劇はナンピン E A どころじゃありません。

そのリスクは「口座破綻レベル」です。

この後・・・戻らないと悲惨なことに。

特に、「ストップが設定されてない」タイプや「ナンピンが決まってない」タイプは非常に危険です。どこまでも、倍倍 Lot で玉を建てて行きます。資金が無限であれば絶対負けません。

が、**残念ながら私達の資金は有限です。**

マーチンゲールもその全てが悪いわけではありません。ナンピン E A の所でも言いましたが、相場は例外を除いて・・・特定の幅の中で行ったり来たりするもの。延々と一方方向に動き続けることはありません。また強いトレンドが発生しても、いつかは終わりが来て反転します。しかし、それがいつか？なんて分かりません。

なので、マーチンゲール E A を扱うには「裁量の技術が不可欠」と言えるでしょう。

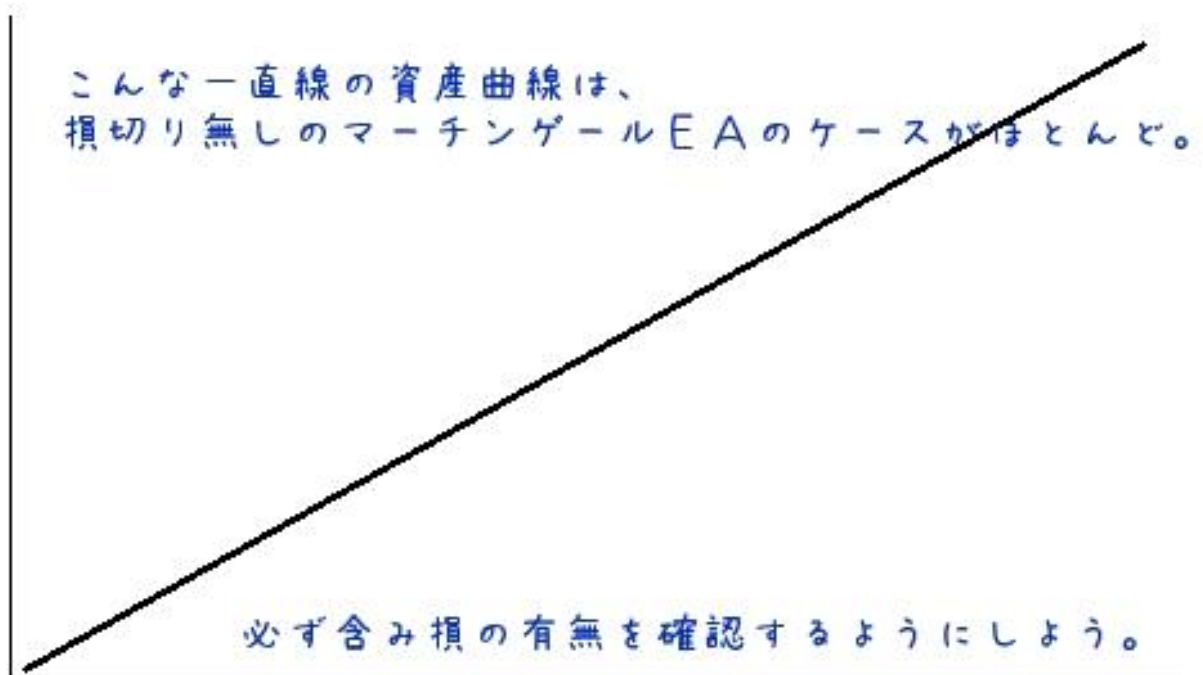
「今の相場ならロングのみOK」

「このポジは危険だから手動で決済」

といった具合に、手を加えてあげる必要があります。

いずれにしても初心者が手を出すべきではありません。

**マーチンゲールの資産曲線は、例外なく右肩上がり一直線。**



こんな資産曲線の E A はまず疑ってかかりましょう。

特に、テストが「資金 100 万円」を元に「0.01Lot」スタート！なんて場合注意が必要です。途中で大幅に含み損を抱えても、そうそうパンクしませんので、こんな右肩上がりになります。必ずあなたの資金とマッチして考えるようにして下さい。

## 第2章 バックテストについて。

### ■バックテストは信じるな。

バックテストとは、mt4 の機能である「ストラテジーテスター」を使って、E A のテスト運用をしてデータを抽出することです。指定した期間において、その E A を運用したらどうなったのか？というデータを取る作業のことを指します。

E A を製作する上で製作者が最も拠り所とする所であり、このテストを繰り返すことによって E A は最適化されドンドン性能がよくなっていくわけです。

このバックテスト。

それは過去のデータに E A を当てはめたもの。過去の相場に照らし合わせて、

## **その E A を運用したらどうなった（過去形）のか？**

つまり、単なる参考に過ぎません。

未来の相場に合うかどうかなんて分かりませんし、

バックテストの P F 値とリアル運用の P F 値が全く一緒なんてことも有り得ません。

また、他人が行った分は信用しちゃいけません（信用出来る人なら話は別です）。

特に E A の販売者が行ったバックテストは疑ってかかる必要があります。



俗にいう所の「カーヴフィッティング」（過剰最適化）という手法を使えば、  
バックテストの成績は簡単に操作することが出来るからです。

**過去の相場に合わせた E A を作るのはとても簡単なのです。**

よく「リーマンショックも乗り越えた」とか「ドバイショックもギリシャショックも・  
・」なんて書いてバックテストの結果を貼り付けてある販売ページがあります。

「うお。すげえ！」

と思ってしまうのですが・・・いやいやいや。これらの E A が実際に「リーマンショック」  
を乗り越えたわけではないですよ。単に、バックテストの中で乗り越えたに過ぎないので  
す。

また「過去10年に渡って・・・」なんて言いながら、実際に儲けたかのごとく細かに金額  
を記載しているケースもあります。

が、このケースも本当に 10 年間リアル運用したわけではありません！

単に、バックテストの中で過去 10 年運用したら？って数字に過ぎないのです。

だいたい、10 年間稼ぎ続けているシステムがあるのなら、

我々一般市民に売る必要などありませんよね（笑）。本当なら、

**少なくとも、数十億円は稼いでいるはずです。**

そして先述した通り、「カーヴフィッティング」を使えばそんな E A は簡単に作ることが出来ます。

特に初心者は大いに気をつけて下さい。

E A 販売者のバックテストは信じるな。これは肝に銘じておいて下さい。

バックテストだけ表示して **「664 連勝した脅威の E A」** なんてのが常套手段です。

また極端に短い期間のバックテストを表示して「**無敗のE A**」なんて言うこともあります。

重々気をつけるように・・・と、口を酸っぱくして言っても、販売者の売り込みページを見てると脳ミソがトーフになって、いつの間にか購入ページをポチッと押してしまいます。

もう一度いいます。初心者は大いに気をつけて下さい。

（メルマガでは、情報が入り次第、そういった業者もお伝えしてます）

## ■バックテストは自分でやろう。

では、バックテストは意味がないのか？というとそんなことはありません。

E Aを購入した後、もしくはダウンロードした後に、思う存分自分でバックテストを行って下さい。

まずは、期間を変えて。

5 年間、3 年間、1 年間。半年間。

相場は時と共に変わっているので、特に最近のバックテストを行うようにしましょう。

で、5 年間の成績はいいんだけど、直近 1 年の成績は悪い・・・なんて E A は要注意です。

現在の相場に合っていない可能性があります。

次に、Lot 数を変えて。

Lot 数を変えて見るべき所は最大 D D です。運用 Lot 数は、最大 D D を大いに参考にしましょう。あと、Lot 数を変えてバックテストをすると、運用のイメージが湧いてきます。これなら大丈夫って Lot 数で運用するようにしましょう。

あとは、E A にもよりますが、各パラメータやオプション機能のオンオフなど、色々と試してみてください。色々と試すことによって見えてくるものがたくさんあります。E A の特徴を把握する上でとても重要な作業となりますので、面倒がらずにたくさんやった方がいいですよ。

自分でやるのが面倒な人は、信頼出来るブロガーを見つけるといいですね。

## 第3章 フォワードテスト

### ■フォワードテストを公開してないE Aは使うな。

前章で「バックテストは信じるな」と言いましたが、では信ずるに足るのは何か？

ずばり、「フォワードテスト」です。

現在進行形のE A成績＝フォワードテスト。

これが最も信頼出来るデータでしょう。

バックテストで非常に優秀だったE Aもフォワードテストでボロボロ。なんてことは日常茶飯事。それほど、バックテストとフォワードテストは別物を思ってもらって構いません。

なので・・・

## 「フォワードテストを公開していないE Aは使うな！」

これは自動売買をやる上で、絶対守るべき事なので必ず覚えておいて下さいね。

ただし、フォワードテストさえ絶対ではありません。

同じE Aでも、ブローカー（取引業者）が変われば成績は変わりますし、P C環境やポートフォリオ（同時運用している他のE A）によっても変わります。例え、同じ環境で運用したとしても、微妙に成績が変わったりするのが自動売買です。あまり固執しないようにしましょう。

## ■フォワードテストの判断方法

では、フォワードテストが公開されていて、成績が良ければそれでいいのか？

というと、コトはそう単純ではありません。

第1章で言った通り、マーチンゲールのEAなんてのは、運用以来無敗・美しい右肩上がりの資産曲線になりますが、膨大な「含み損」を抱えていたりします。

フォワードテストは、「決済」されない限り成績には表示されないのです。つまり、必ず「未決済のポジション」をチェックするようにしましょう。「Open Trade」「floating P/L」と書いてあるか、決済値が入ってないポジションがあるはずです。

この未決済のポジションは、許容限度を越えるとパンクして強制決済されます。

いわゆるロスカット。口座破綻です。

あと、たまたま見た時に「未決済ポジション」が無い状態の場合もあります。

フォワードテストを見る時は「いつ玉が建てられて、いつ閉じたのか」を見るようにしましょう。**建玉から決済まで極端に期間が空いてる場合**は、その間含み損となって浮遊していたポジションです。

いいですか。よく覚えておきましょう。

## **含み損は自動売買の敵！**

含み損は膨れ上がるとロスカットになるだけではありません。

大きな含み損があると新しいポジションを取れなくなります。

つまり、得るはずだった利益も取れなくなるのです。

出来るだけ含み損を抱えないタイプのE Aを使用しましょう。

## **良いE Aの判断基準は・・・**



スキャルピング・・・売買期間が短い。ストップ値がキチンと入っていて狭い。

デイトレード・・・売買期間は出来るだけ短い。リミットとストップのバランスが良い。

スイング・・・売買期間は長くても良い。損が出た場合に適切な損切りが入っている。

後は、ポジションを集中して取るタイプか？適正なエントリー回数か？を見る様にするといいでしょう。

## ■フォワードテストの利用法

フォワードテストは、ただ眺めるだけじゃ勿体無いです。

例えば、**毎月第一金曜日**は「米雇用統計」発表の日。「この時の成績はどうなのか？」を知ることによって「指標に強いE Aか弱いE Aか」を知ることが出来ますね。

もっと細かく見てみると、

週明けの窓（月曜日の午前中）の成績はどうか？

動意の少ないアジア時間の成績はどうか？

欧州時間はどうか？ニューヨーク時間は？

こうやって見て行くと、E Aによっては**苦手な時間帯**があったり、**苦手な曜日**があったりするのが分かると思います。これが分かれば、その時間帯や曜日に運用しないだけで、E Aの成績がグンと上がりますよ。

損しないE A、儲かるE Aってのは、単に見た目の成績が抜群ってだけではありません。

我々がそのE Aの特色を理解し、弱点を補って運用することで、自然と「儲かるE A」となるのです。

## 第4章 販売ページ

### ■販売ページは読むだけ無駄。

「損しない自動売買ソフト」を選ぶ為には、上記を理解した上での目利きが必要です。しかし、目利きには経験や知識が必要です。初心者の方にはそんな判断力はないですね。なので・・・

### 「EA販売ページは読むな」

と言っておきます。FX初心者の方は、販売者の言うこと書くこと何が本当か何がウソか判断することなど出来ません。

そして・・・読めば必ず欲しくなります。買わないと損するような気持ちになります。私も今まで何度となく騙されたり買わされたりしてきました。※もちろん、中には素晴らしいEAもあるでしょうが、その判断が出来ない限り買うべきではないと考えます。

そして残念なことに、「何とかして買わせよう」と目論んでいる販売者が多数いるのです。その全てが詐欺とは言いませんが、**バックテストで良い成績だっただけ**のE Aであることが多いのです。

しかし。

中には真摯にE A製作に打ち込み、何とか素晴らしいE Aを世に送り出したい。皆に勝ってもらって、その上で自分も儲けたい。

と考えているE A製作者さん達もたくさんいます。さて、ではどうやってそういったE Aを探しましょう？

## ■リアル運用している人を探せ。

一番簡単なのは、実際にE Aを運用している人を探すことです。ネットで検索すれば、必ず実践している人が見つかります。

しかし、**その人をそのまま信じちゃいけません**よ。その人自体が「運用しているフリ」の詐欺人間かもしれないからです（実践してない！って人よくいます。ご注意を）。自動売買は「フォワードテストが命」。つまり、ウソ偽りない実績こそが何よりの参考材料なのです。

しかし、この「実績」を曝すことなくブログ運営している人達がたくさんいます。これらの人達は、販売元の実績（メールなどで送られてくる）をコピーしてブログに貼り付けただけだったり、アレンジして自分の実績として公開したりします。

じゃあ、どの部分で判断したらいいか？

**「実績の画像」や「myfxbook」などのデータ**です。

トレーディング活動		保有中のポジション (0)		オープンオーダー (0)		履歴 (6)		Exposure			
①	Open日	クローズ日 ▼	シンボル	アクション	ロット	SL(Price)	TP(Price)	オープン価格	クローズ価格	Pips	Net Profit
🔗	10.11.2016 20:00	10.11.2016 20:06	EURUSD	売る	0.15	1.11244	1.10604	1.10683	1.10604	7.9	10.85
🔗	10.11.2016 16:25	10.11.2016 16:41	EURUSD	売る	0.15	1.11526	1.10886	1.10966	1.10884	8.2	11.30
🔗	10.11.2016 16:15	10.11.2016 16:41	EURUSD	売る	0.15	1.11531	1.10891	1.10970	1.10890	8.0	11.00
🔗	10.11.2016 00:35	10.11.2016 01:45	EURUSD	売る	0.15	1.11959	1.11319	1.11397	1.11389	0.8	0.20
🔗	10.06.2016 23:50	10.07.2016 00:20	EURUSD	売る	0.15	1.12099	1.11459	1.11540	1.11477	6.3	8.45
🔗	10.06.2016 23:05	10.06.2016 23:30	EURUSD	売る	0.15	1.12081	1.11441	1.11521	1.11469	5.2	6.80

実績の画像。これはウソがつけません。他人のデータを盗まない限りはね。

myfxbook は、仮想口座で E A のフォワードテストが出来るサイトです。このテストも改ざん等は一切出来ません。信用できます。

これら**客観的データが無いブログ**は信じちゃいけません。

自分で運用してない可能性大です！

さらに・・・出来れば、その人のブログをチェックし、メルマガを購読して、信用出来る人かどうかを確認するといいいです。詐欺人間はスグ化けの皮が剥がれますから。

そして、その人が信用出来ると分かれば、その人の扱ってる E A を選べばいいのです。

これが究極の「損しない自動売買ソフトの選び方」だと思います。

あ、言っておきますが、その人が扱っている E A を使えば**自分も 100%儲かる**

ってわけではありませんよ。E A を選ぶ際の判断基準の一つに過ぎません。最終的には自分で判断する必要がありますし、運用方法を学ぶ必要もあるでしょう。同じ E A でも「リスク管理」の方法が違えば成績が変わってきますからね。

何より、投資は自己責任。勝つのも負けるのも、他人のマネをするのも、全て自分の責任です。だから面白いんですけどね。

その後、知識と経験を積んで、正しく判断できるようになってから、自分で E A を選ぶといいでしょう。それまでは、信用出来る人を探すのが手っ取り早いと思いますよ。

そうそう。**私のこともキチンと疑って下さいね。**

是非、他の人と比べてみて下さい。

# 最後に

いかがだったでしょうか。

残念ながら・・・。

この世に存在するE Aの中で、勝っているE Aというのは少数派で、負けているE Aというのが多数派です。そして、相場は遷り変わり、今まで勝てたE Aも途端に勝てなくなったりします。

**それでも人は、「自動売買」に憧れを抱き、  
いつか「絶対勝てるE A」に巡り合えると信じています。**

はっきり申し上げておきますが、



「絶対に勝てる E A」なんてのは存在しません。

だけど、存在しないからって、

努力をやめてしまうと、

**夢も希望**も全て失ってしまいます。

「絶対に勝てる E A」はありませんが、「今の相場が得意な E A」ならあります。「調子が良い E A」ならあります。「派手さはないけどコツコツ勝てる E A」ならあります。

「リスク管理さえしっかりやれば勝てる E A」ならあります！

少しでも、勝てる確率の高い E A を探しましょう。

少しでも、勝つためのリスク管理を行いましょう。

少しでも、F X について勉強しましょう。

この繰り返しによってのみ、道は拓かれるのだと信じています。

## 自動売買の一番凄いところ。

自動売買を極めた先にあるもの。

それが何なのか？

よく考えてみて下さいね。

どんな可能性があるのか？

資金が 100 万円になったらどうなるのか？

資金が 1,000 万円になったらどうなるのか？

1 年後にどうなるのか？

5 年後にはどうなるのか？

10 年後はいったいどうなってるのか！

今はその為の練習。その為の実験。その為の予行演習ですよ！

**決して諦めないで。**

では、またメルマガの中でお逢いしましょう！

asajiro（蛸原和生）

## **【補足】自動売買ソフトを扱っているオススメサイト。**

最近では、以前のような「詐欺的販売ページ」は非常に少なくなりました。その代わりに台頭してきたのが、数多くのEAを登録して提供する「EAまとめサイト」です。全てのEAのフォワードテストを公開し、レビューを掲載し、公平でリアルな比較を可能にしています。もちろん、これらのサイトを利用する場合でも、各EAの本質を見抜く目は必要になりますが、「騙される」ということは一切ありません。是非覗いてみて下さいね。

**★有料EA販売・投資総合コミュニティサイト「FX-ON」**

◆当レポート発行者情報

発行者：asajiro（蠣原和生）

発行元：〒861-8010 熊本県熊本市上南部 3-23-38

e-mail : [asajiro@fine-store.sakura.ne.jp](mailto:asajiro@fine-store.sakura.ne.jp)

◆ブログ【FX 初心者が無料の自動売買ソフトを使って家を建てる話】

<http://free-autotrade.blog.so-net.ne.jp/>

◆FX-ON のおすすめ EA でマイホームの頭金を貯めるブログ

<http://fxon-autotrade.sblo.jp/>

◆メルマガ【FX 自動売買をマスター 30 日間集中講座】

<https://epfrm.com/fDtt/1/reg>